



# 令和9年度 小学校統合に向けて

## ●はじめに

平成23年4月、7校あった大石田町内の小学校を大石田南小学校、大石田小学校、大石田北小学校の3校に統合・再編して以来、3校体制で10年余りが経過しました。当初、10年後を目途に3校を1校に統合する意向であり、スムーズに統合が進むように、校歌、校章、運動着を3校統一のものにした経緯があります。

その後は地域活性化や児童生徒数の推移を見守りながら、統合小学校のあり方について検討を続け、令和3年度に開催した教育委員会・総合教育会議にて、令和9年4月、統合小学校開校の方針を決定しました。

小中一貫教育を軸として、大石田町の教育の全体構想である「大石田学園構想」を推進し、将来を担う子どもたちの健やかな成長のため、新校舎を建設し、大石田中学校とつながる統合小学校の開校を目指します。

## ●大石田学園構想

大石田町教育委員会では、「地域とともにある学校」を目指して、平成25年度から学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「コミュニティ・スクール」制度を導入しました。さらに、令和2年度からは「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域がパートナーとして連携・協働する「地域学校協働本部」を設置し、相互に連携しながら活動を続けた結果、令和4年度には、その一体的推進の実践が評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。

この恵まれた教育環境のもと、次世代を担う子どもたちの「生き抜く力」(学力・人間力・社会力)を育成しながら、質の高い学校教育と学びが好きな学校づくりに取り組み、更なる小中一貫教育を推進します。

## ●大石田学園づくり委員会

統合小学校の開校に向け、広く意見を交換して、円滑な統合を進めるために、令和4年度に「大石田学園づくり委員会」(柏倉泰樹委員長)を設置しました。各小中学校運営協議会委員40名で構成され、保護者、地域、学校、行政それぞれの立場から意見を出し合い、熟議が進められています。

令和4年度は、学校運営協議会の委員及び町教育委員、学校教職員を対象とした「学校統合アンケート」の結果を踏まえ、開校の時期、新設か既存校舎の活用かを含めた校舎の場所の検討、統合直後の小中学校の形態について熟議を行いました。

令和5年度以降は、大石田学園づくり委員会に設置した各専門部会において、学校教育目標に関することや学校施設の跡地利用に関すること、学校文化財の保存に関する事など、統合により生じる諸課題の解決に向けた熟議を行い、教育委員会の方針に反映させてまいります。

※「熟議」とは多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくことをいいます。

## ●大石田町立小学校統合事業

### 基本構想・基本計画

令和3年度に実施した小学校統合に関するアンケートの結果や大石田学園づくり委員会での熟議の内容、令和4年12月に実施したパブリックコメントの募集を踏まえ、大石田町立小学校統合事業基本構想・基本計画を策定しました。

★開校時期／令和9年4月

★開校場所／大石田中学校校舎南側(多目的グラウンド)

★学校形態／小学校6年・中学校3年(施設一体型小・中学校)

## ●令和5年度の動き

今年度は、小学生を対象としたサンサンスタディ(合同学習)の特別授業として、統合小学校に関するワークショップを開催する予定です。

また、小学校、保育園の保護者を含む住民説明会等を開催し、大石田学園づくり委員会と連携を図りながら円滑な統合を進めてまいります。

■教育文化課 学校教育グループ ☎(35)2111(内線252)

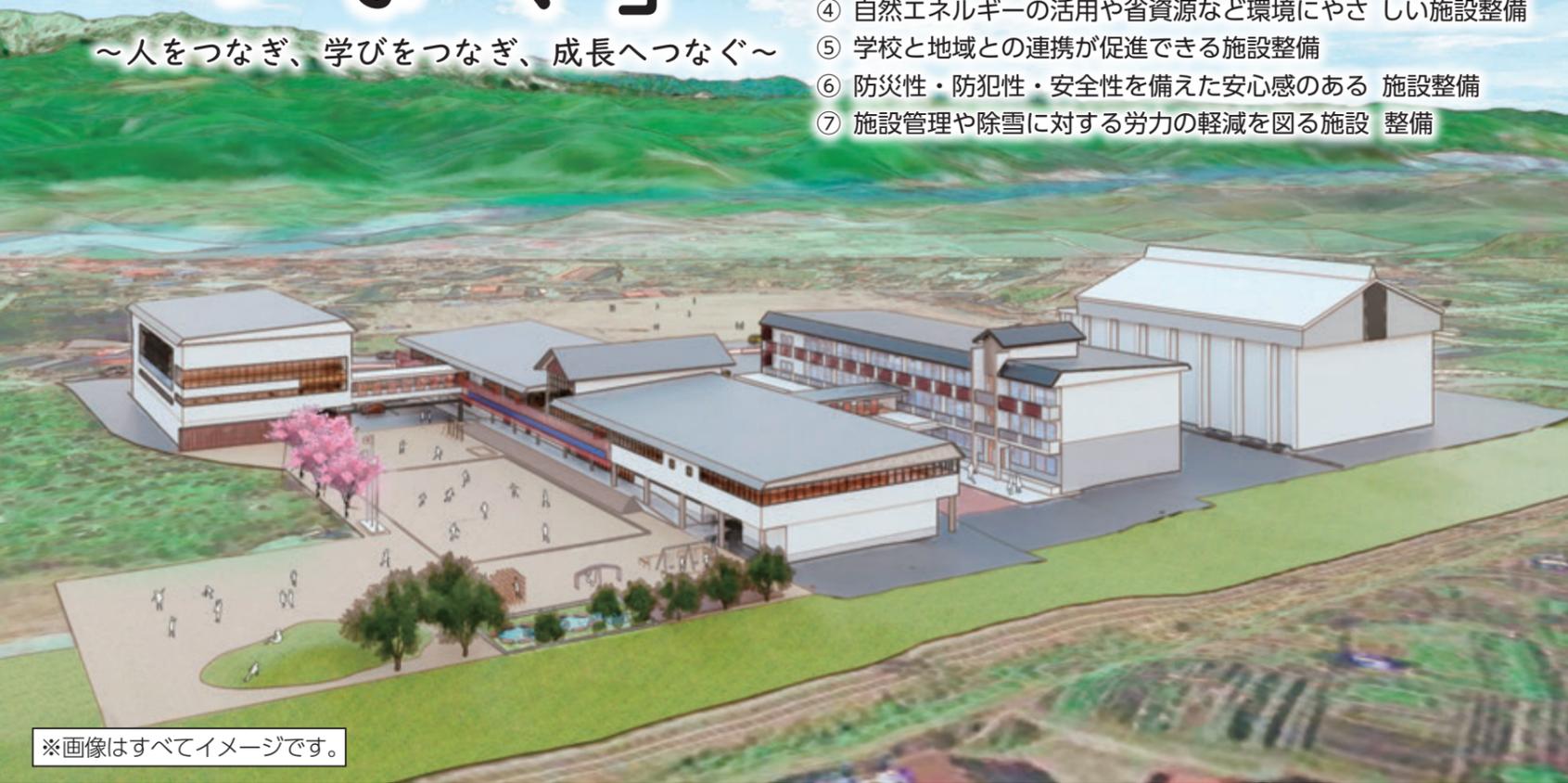
## 【施設整備コンセプト】

# 「つなぐ」

～人をつなぎ、学びをつなぎ、成長へつなぐ～

## ●施設整備方針(7つの特色)

- ① 最も効果的な小中一貫教育を実現できる施設整備
- ② 教育内容・教育方法等の多様化、情報化に対応した施設整備
- ③ 特別支援教育、バリアフリーに適した施設整備
- ④ 自然エネルギーの活用や省資源など環境にやさしい施設整備
- ⑤ 学校と地域との連携が促進できる施設整備
- ⑥ 防災性・防犯性・安全性を備えた安心感のある施設整備
- ⑦ 施設管理や除雪に対する労力の軽減を図る施設整備



※画像はすべてイメージです。

